

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月 31日

協議会名: 酒田～勝浦航路確保維持協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
①酒田市 ②酒田～勝浦航路 酒田港周遊(不定期)	①運航便数、運航時刻の調整 ②子ども無料キャンペーンによる情報発信及び誘客の促進 ③酒田港クルーズや貸切運航等の不定期航路の運航における収益の確保 ④燃料潤滑油費や船舶消耗品費、修繕費等の経費削減 ⑤競争入札による用船料の縮減 ⑥山形県・酒田市が取り組む飛鳥振興プロジェクトとの連携における離島活性化方策の推進並びに酒田市、(一社)酒田観光物産協会、飛鳥観光協議会の3者の連携による航路改善計画の推進 ⑦インターネットを活用した乗船予約システムやキャッシュレス決済の導入、発券方法等の検討	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (引き続き経費削減に取り組むことを期待。航路維持について協議を進めること。改善事業により離島住民や観光客等の利用促進が図られること。 【事業評価結果の反映状況】 鳥海山・飛鳥ジオパーク認定ガイドによる「ミニ飛鳥講座」を実施し更なる需要の掘り起こしに努めた。 船舶検査内容を見直し、工期短縮することで経費節減に努め安心安全な運航を確保することができた。 3月にインターネットを活用した乗船予約システムが稼働し24時間乗船予約が可能となり、4月下旬よりキャッシュレス決済を導入し利用促進を図ることができた。	計画通りに実施されていない点があった 左記の改善事業の概要に掲げる項目の内、達成・実施したもの ①、②、⑤～⑦ 達成・実施できなかったもの ③新型コロナウイルス感染拡大に伴い、7月、8月の酒田港クルーズを中止した。 ④燃料単価高騰により燃料費が増加した。	■旅客人数 計画: 23,370.0人 実績: 16,963.5人 ■達成状況 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として国の度重なる緊急事態措置やまん延防止等重点措置によって旅行者の出控え傾向があったことに加え、当所でも感染防止対策として酒田港クルーズの中止や※定員削減を実施したことによって、乗客数がコロナ前ほど回復せず目標を達成できなかった。 達成率 72.6% ※感染防止対策としての定員削減 令和3年7月中旬まで定員を半分(115人)とし以降は定員の8割程度(180人)に緩和。 (現在も継続中)	現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況は変異株の出現より収束の兆しが見えないことから、乗船定員の削減など感染防止対策を継続せざるを得ず、乗客数等の回復は収束前ほど見込めない状況である。よって、新型コロナの感染状況を踏まえながら改善事業をすることにより旅客数の早期回復に努める。